

持続的都市の実現

- コンパクト・シティの実像を描く
 - ・ 自然環境と文化環境の保全と創造
 - ・ 地域資源の保存と活用
- 小さなプロジェクトの圧倒的集積
 - ・ 産業と文化、福祉、環境の統合
- 豊かな風景を育む
 - ・ 質の高い生活空間
- 長期的な目標と戦略プロジェクト
 - ・ 連携する主体と推進の組織
 - ・ 効果的投資と回収

豊田の都心を考えるときにも、環境にやさしい、産業、社会が持続していける都市を目指すという方向性が出てくると思いますが、これは世界共通のテーマです。コンパクトシティと言っています。今までは都心から郊外へどんどん出ていってしまったので、個々の家の環境はいいかもしれませんが、都市全体として見ると非効率的です。それをコンパクトにしよう。コンパクトにするにはどういうふうに行っていけばいいのか。それがこの都心のビジョンの中に幾つか示されています。

そして、豊田市にある意味で苦言を呈するとすれば、豊かな自然や産業活力があるのに、なぜこんなに風景が悪いのかという点です。ですから、ここをきちっと作りかえていこう。そのためには少し長期的な目標を持ってプロジェクトを動かしていく必要があると思います。



私はアメリカの都市再生を少し調べていたことがあります。これはシカゴの少し北のほうにあるミルウォーキーの都心再生です。ちょうど豊田市ぐらいの都市規模だと思います。内容は説明しませんが、その一番のキーポイントはやはり質の高い空間をつくることです。都市にいて、ある種の

喜びを感じたり、楽しみを感じたり、幸せを感じられるように。そのためにはやはり一つ一つの空間の質が高くないといけません。もちろんソフトも重要ですが、場所がよくないと何もできないという話です。こういうことを着実にやってきた都市がミルウォーキーです。



もう1つ、私どものキャンパスは今、千葉にもありまして、千葉県にある東京大学という矛盾した言葉になっていますが、そこで公民学の連携でまちをつくらうということをやっています。そのためのセンターをこの間つくりました。ここでも